

## 第7章 次世代育成支援推進のための目標指標

母子保健計画では、保健・医療に限定することなく、母子を取り巻く関連の深い分野を含めた、幅の広い視野でとらえ、生活者の視点に立ち、よりよい健康づくりを目指した、豊かな生活を築くための対策を行なってきました。

そのため、母子保健計画の推進においては、以下の「具体的な方向」及び「基本方針」を掲げるとともに、具体的目標と達成すべき指標の目標値を設定しました。

### 〔母子保健計画の具体的な方向と基本方針〕

#### ◎具体的な方向 「妊産婦 ～ 妊娠・出産をみんなで喜び合える」

##### （基本方針）

- I 夫婦がお互いを支え合う
- II 妊婦が自分の時間を持ち、気持ちにゆとりが持てる
- III 気軽にいつでも相談できる
- IV 仕事を持っていても、安心して妊娠期間を過ごすことができる
- V 健康に過ごし、病気を予防することができる

#### ◎具体的な方向 「乳幼児 ～ 子どもの笑顔があふれて親子がいきいきと生活できる」

##### （基本方針）

- I 夫婦で子育てを楽しむことができる
- II 親が気持ちにゆとりを持って子育てができる
- III 子どもたちが元気に楽しく学ぶことができる
- IV 育児について気軽に相談できる
- V 子育てをしながら安心して仕事が続けられる
- VI 病気や事故を防ぐことができる

本計画は、母子保健計画を包含することが定められているとともに、母子の日常生活における具体的な変化を把握することで、次世代の育成支援においてより効果的な対応が図られることから、母子保健計画における目標値の達成を本計画の推進においても継承して取り組むものとしします。

◎具体的な方向 「妊産婦 ～ 妊娠・出産をみんなで喜び合える」

I 夫婦がお互いを支え合う

〔主観的指標〕

	現状	平成19年度	平成21年度
(妻) 夫婦で妊娠、出産についてよく話し合っている	86.4%	90.0%	93.0%
(夫) 夫婦で妊娠、出産についてよく話し合っている	91.9%	93.0%	95.0%
夫は家事、育児に協力してくれる	89.1%	93.0%	95.0%
(夫) 家事を協力している夫の割合	60.8%	70.0%	80.0%
夫の家事、育児参加について周囲の理解度	41.9%	55.0%	70.0%

〔客観的指標〕

	現状	平成19年度	平成21年度
母親、両親学級へ夫婦で一緒に参加している割合	20.0%	25.0%	30.0%
父親同士の交流の場	3カ所	5カ所	拡充

II 妊婦が自分の時間を持ち、気持ちにゆとりが持てる

〔主観的指標〕

	現状	平成19年度	平成21年度
妊娠期間を楽しく過ごしている妊婦の割合	87.8%	90.0%	95.0%
自分の時間を持つことのできる妊婦の割合	91.8%	93.0%	96.0%
自分の時間を持つことへの周囲の理解度	97.3%	100%	100%

〔客観的指標〕

	現状	平成19年度	平成21年度
母親学級、両親学級の開催回数	106回	拡充	拡充
公共施設に於ける趣味講座の開催数	無し	検討	検討

III 気軽にいつでも相談できる

〔主観的指標〕

	現状	平成19年度	平成21年度
隣近所と交流している妊婦の割合	24.3%	30.0%	35.0%
妊娠、出産等で気軽に専門家に相談できる	87.8%	90.0%	95.0%
情報交換ができる友人がいる	50.0%	70.0%	80.0%

〔客観的指標〕

	現状	平成19年度	平成21年度
妊娠等について相談できる機関の数及び件数	4カ所	拡充	拡充
母子保健推進員の数	24名	32名	拡充

#### IV 仕事を持っていても安心して妊娠期間を過ごすことができる

##### 〔主観的指標〕

	現状	平成19年度	平成21年度
必要なときに休みが取れる	90.3%	93.0%	95.0%
産前、産後休がとれる	96.8%	100%	100%

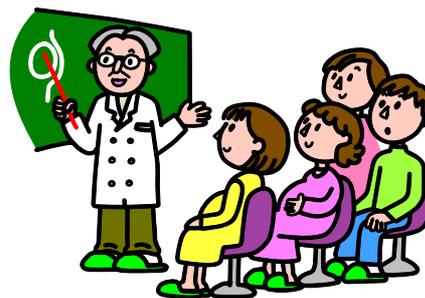
#### V 健康に過ごし、病気を予防できる

##### 〔主観的指標〕

	現状	平成19年度	平成21年度
定期的に妊婦健診を受けている	98.6%	100%	100%
煙草を吸っている（吸っていた人含む）	12.2%	0%	0%
母親学級を受講したことがある	32.4%	40.0%	50.0%
妊娠、出産について学んだことがある夫	60.0%	65.0%	70.0%

##### 〔客観的指標〕

	現状	平成19年度	平成21年度
母親学級受講者数	731名	拡充	拡充
妊婦の貧血有所見者率（前期）	12.8%	10.0%	8.0%
妊婦の貧血有所見者率（後期）	55.9%	50.0%	45.0%



◎具体的な方向 「乳幼児 ～ 子どもの笑顔があふれて親子がいきいきと生活できる」

I 夫婦で子育てを楽しむことができる

〔主観的指標〕

	現状	平成19年度	平成21年度
夫と育児のことについてよく話している	77.0%	83.0%	90.0%
夫は子どもの世話をよくする	78.4%	85.0%	90.0%
(夫) 夫婦で一緒に子育てをしていると思うか	83.7%	90.0%	95.0%
父親の育児参加について舅、姑の理解	84.7%	89.7%	94.0%

〔客観的指標〕

	現状	平成19年度	平成21年度
育児学級及び育児講演会	30回	拡充	拡充
父親同士の交流の場	2カ所	6カ所	拡充
母親同士の交流の場	8カ所	拡充	拡充
育児学級や乳幼児健診へ夫婦で参加している	乳健 44.9%	50.0%	60.0%

II 親が気持ちにゆとりを持って子育てができる

〔主観的指標〕

	現状	平成19年度	平成21年度
自分の時間をもてる母親	55.0%	70.0%	80.0%
(夫) 母親が自分の時間を持つことを理解	85.0%	90.0%	95.0%
子育てを楽しんでいる母親	92.7%	95.0%	100%

〔客観的指標〕

	現状	平成19年度	平成21年度
利用できる趣味の講座の数	15回	拡充	拡充
託児所付きの趣味の講座の数	1回	拡充	拡充
一時保育を実施している保育所	0カ所	2カ所	拡充
子育て支援センターの数	2カ所	3カ所	拡充
子育て支援センターの利用者数	430組	拡充	拡充
保育所の数	6カ所	7カ所	拡充
育児サークル数	2カ所	3カ所	拡充
子ども会の数	16カ所	拡充	拡充

### Ⅲ 子どもたちが元気に楽しく遊ぶことができる

#### 〔主観的指標〕

	現状	平成19年度	平成21年度
地域の人と交流している割合	30.3%	60.0%	80.0%
近所に遊び友達がいる子どもの割合	32.0%	60.0%	80.0%
高齢者とのふれあい	84.7%	90.0%	95.0%

#### 〔客観的指標〕

	現状	平成19年度	平成21年度
安全できれいな公園の数	3カ所	10カ所	15カ所
親子で地域の人と交流できるイベントの数	51回	拡充	拡充
児童館の数	2カ所	3カ所	拡充
高齢者と交流している保育所の数	7カ所	拡充	拡充
育児サークル等の情報誌	1	拡充	拡充
開放している公民館の数	29カ所	拡充	拡充

### Ⅳ 育児について気軽に相談できる

#### 〔主観的指標〕

	現状	平成19年度	平成21年度
相談相手のいるお母さん	93.0%	100%	100%
育児のことで話し合う友人がいる	91.7%	95.0%	100%
育児について不安の強いお母さんのいる割合	20.0%	15.0%	10.0%
相談できる専門家がいる	59.4%	70.0%	80.0%

#### 〔客観的指標〕

	現状	平成19年度	平成21年度
相談できる機関の数及び件数	12カ所	拡充	拡充
母子保健推進員の数	24名	32名	拡充
育児を支えているボランティアの数	3カ所	拡充	拡充
主任児童民生員の数	2名	拡充	拡充
保健師の数	4名	7名	8名

## V 子育てをしながら安心して仕事が続けられる

### 〔主観的指標〕

	現状	平成19年度	平成21年度
子どもを預けることができる	86.3%	90.0%	95.0%
育児休暇が取れる（母親）	57.0%	70.0%	90.0%
育児休暇が取れる（父親）	0%	30.0%	50.0%
必要なとき仕事を休むことができる（母親）	64.8%	70.0%	80.0%
必要なとき仕事を休むことができる（父親）	50.3%	55.0%	60.0%

## VI 病気や事故を防ぐことができる

### 〔主観的指標〕

	現状	平成19年度	平成21年度
子どもの安全確認をしている母親	97.7%	100%	100%
子どもの健康管理に注意している母親	96.3%	100%	100%
自分の健康管理に気をつけている母親	67.1%	80.0%	90.0%
出産前に育児について勉強した（母親）	79.7%	85.0%	90.0%
出産前に育児について勉強した（父親）	38.0%	50.0%	60.0%

### 〔客観的指標〕

	現状	平成19年度	平成21年度
乳児健診受診率	87.7%	90.0%	92.0%
1歳6ヵ月児健診受診率	85.9%	88.0%	90.0%
1歳6ヵ月児健診う蝕罹患率	6.0%	3.0%	0%
3歳児健診受診率	85.6%	88.0%	90.0%
3歳児健診う蝕罹患率	49.6%	44.0%	40.0%
麻疹接種率	66.2%	85.0%	95.0%
事故予防教室の開催	6回	9回	15回
4歳以下の子どもで不慮の事故による死亡者数	0名	0名	0名

